

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

自然系コース(理科)／栗田  
高明

### ■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが(平成24年8月28日)、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

#### 1. 目標・計画

理科教員を目指すのであれば教科内容の理解は勿論、実験や観察に関する知識や経験も当然必要である。特に小学校の現職教員や将来教員を目指す学生の中には、中学生、高校生の時に理科に関する実験、観察の経験をほとんどしていない者も少なくない。そのため実験、観察に関する内容の理解をより深めるために、法則等の背景にある実験事実や思想、科学観等も考慮に入れた講義内容を組み立てる。また簡単な実験を授業内で行い、その実験の意義や目的、実験時の注意点などの理解を促す。成績評価においては、実験に対する態度や積極性など、筆記試験でははかれない点も考慮に入れる。

#### 2. 点検・評価

将来理科教員として教壇に立つ際に必要な知識の習得や科学的思考力を養うために、授業では自然現象の身近な例を挙げ、背景にある法則等や関連する実験を取り入れた。また学校現場で利用できる教材を学生に作製させ、単元設定や授業のねらい等、指導案作成の際に必要な事柄を学生自ら考えさせるようにした。また実験や観察の際に特に注意する点をいくつか挙げ、事例を紹介しながら詳細に説明した。また班ごとに作製した教材を内容を含めて発表させ、学生間の批評を行った。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

科学的思考力や数理的解析力など理科教員に必要な基礎的の学力をつけさせるため、授業の中で演習を取り入れ、内容理解の深化を目指す。またエネルギーや放射線をより理解させる講義内容を考える。

#### 2. 点検・評価

「力学」の内容を講義する物理学Iでは、1時間の講義の後、関連する演習問題を解かせてその解説を行った。消化できなかった演習問題はホームワークとして次時の講義で提出させ、知識の蓄積を促した。文部科学省「教育現場の放射線危機管理向上のための人材育成」事業に参画し、学校現場での放射線教育の実践を促すため、学部および大学院において、放射線の軌跡を可視化できる霧箱を紹介し、それらを用いた授業を行った。

### Ⅱ－2. 研究

#### 1. 目標・計画

放射線と物質の相互作用に関する研究を推進するため、京都大学原子炉実験所共同利用研究の公募に応募し、研究を推進する。

#### 2. 点検・評価

平成25年度は9月、11月および3月に、京都大学原子炉実験所において「イオン性結晶材料の放射線誘起発光機構」というテーマで共同利用実験を行った。また共同利用委員会委員として、共同利用研究の審査等に携わった。

## Ⅱ－3. 大学運営

### 1. 目標・計画

予算財務管理委員会委員として、本学の運営に貢献する。

### 2. 点検・評価

予算財務管理委員会委員として、委員会にて部の代表として意見を述べるとともに部会議等で委員会の内容を報告した。

## Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

特別講演や授業研究会など附属学校園や、外部からの講師、助言者等の依頼があれば積極的に引き受ける。

### 2. 点検・評価

平成25年8月6日に徳島県総合教育センターにて徳島県中学校理科教員を対象に、理科の観察・実験指導力研修講座及び理科研修講座Ⅳ物理領域「エネルギー分野に関する指導法」を行った。  
平成25年8月26日に教育職員免許更新講習「知っておきたい科学の知識」(物理分野)を担当した。  
平成26年1月25日に徳島県中学校理科研究会「正しく理解する放射線」教育職員セミナーの講師を担当した。

### Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

特になし